

Hidaka

農業

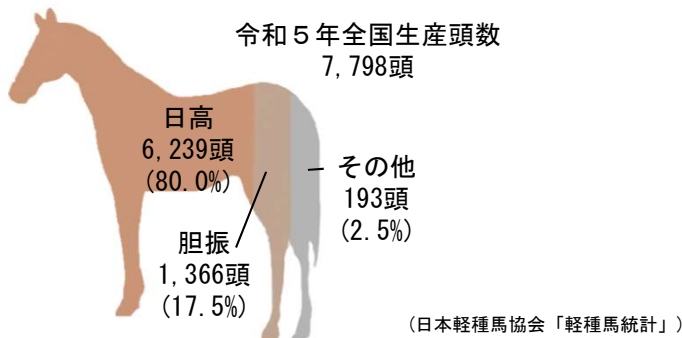
管内は、国内生産頭数の約80%（令和5年：6,239頭）を占める全国一の馬産地であり、中央・地方競馬の開催に大きな役割を担っています。

軽種馬の繁殖牝馬飼養戸数は昭和50年頃をピークに年々減少しています。それに伴い、繁殖牝馬の飼養頭数及び生産頭数も減少していましたが、軽種馬農家の規模拡大により、飼養頭数及び生産頭数は平成27年頃から増加傾向に転じています。

管内では軽種馬生産のほか、稲作や施設園芸、酪農、肉用牛生産などが行われており、トマト、ピーマン、デルフィニウム、寒締めホウレンソウは全道一の生産量を誇り、夏いちごやミニトマトの生産も盛んです。

令和6年の販売額は、トマトが約41.8億円、ピーマンが約14.5億円、夏いちごが約4.2億円、デルフィニウムを含む花きが約7.8億円となっています。

■軽種馬生産の地域別構成



牧場風景(新ひだか町)



トマトの生産(平取町)

■繁殖牝馬飼養戸数・1戸当たりの繁殖牝馬飼養頭数(全国)



花き品評会(新ひだか町)

日高管内のお米について

日高管内は、水稲作付面積は少ないものの、平成28年と令和3年に全道ゆめぴりかコンテストで最高金賞を受賞するなど、高い評価を得ている地域です。

各地域でプライベートブランド米が生産されており、振興局では試食会や局内販売等のPRに取り組んでいます。

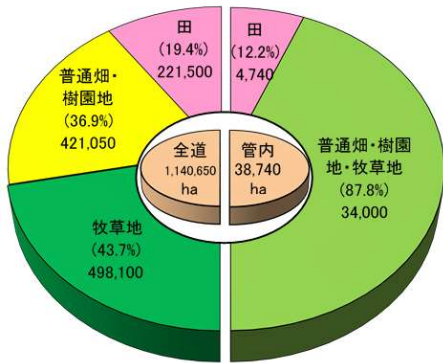
<管内プライベートブランド米>

- ・馬舞米(JA門別:ななつぼし)
- ・ニシパの恋人(JAびらとり:ななつぼし)
- ・判官伝説(JAにいかっぶ:ななつぼし)
- ・万馬券(JAしずない:ななつぼし)
- ・トキノミノル(JAみついいし:ななつぼし)
- ・浦河の特別栽培米(JAひだか東:ななつぼし、きたくりん)
- ・アポイ米(JAひだか東:ななつぼし)



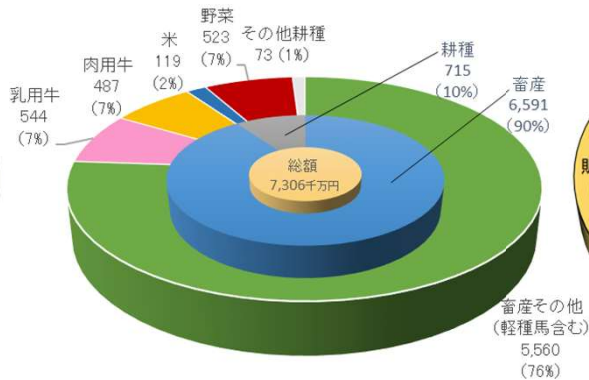
管内ブランド米局内販売の納品セレモニー
(日高合同庁舎)

■ 耕地面積 (令和5年)



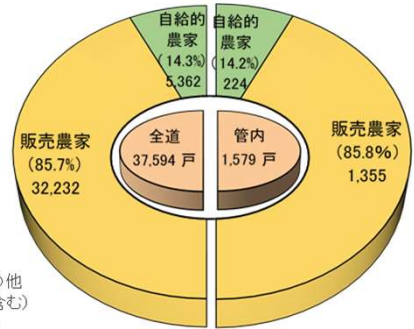
(北海道農林水産統計年報令和4年～5年)

■ 農業産出額の構成比 (令和4年推計値)



(北海道農林水産統計年報令和4年～5年)

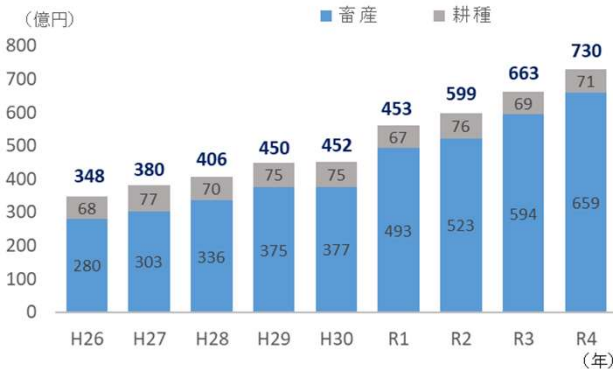
■ 総農家戸数 (令和元年2月1日現在)



(2020年農林業センサス)

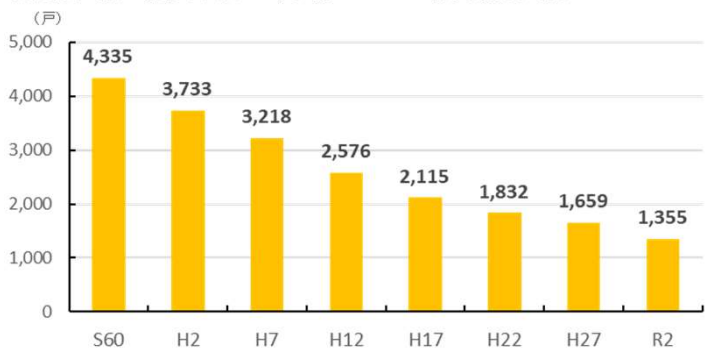
ひだかの産業

■ 農業産出額 (推計値) の推移



(北海道農林水産統計年報)

■ 総農家戸数の推移 (平成12年以降については販売農家戸数)



(2020年農林業センサス)

馬産地としての日高 ～日高はサラブレッドのふるさと～

全国一の馬産地「日高」はサラブレッドのふるさと

雄大な日高山脈を有し、眼前には太平洋を望む豊かな自然に恵まれた日高は、ゆったりと草をはむ馬たちの姿や優駿が駆けめぐる牧場風景が随所に見られます。

1年間に誕生する競走馬の約8割に当たる約6,000頭が日高で誕生し、中央競馬をはじめとして歴史的に名を残した多くの名馬を世に送り出しています。

迫力ある競馬を間近で観戦できる日本唯一の馬産地競馬場

門別競馬場(日高町)では、北海道営の地方競馬「ホッカイドウ競馬グランシャリオナイト」が4月から11月にかけて開催されています。

地方競馬場の中でも最大級のコース規格を有し、白を基調としたスタンドから目前で繰り広げられる迫力あるレースが観戦でき、周囲の牧場風景とともに、サラブレッドの魅力を楽しむことができます。

また、競馬場内ではバケツジンギスカンや手打ち蕎麦などの地域の食を楽しむことができます。



門別競馬場(日高町)

軽種馬の市場取引

北海道市場(新ひだか町)は、日高・胆振・十勝3地区の軽種馬農業協同組合が業務提携し、(公社)日本軽種馬協会の後援で実施している軽種馬専門のせり市です。

生産馬の開かれた取り引きの推進を目的とし、5月から10月までそれぞれ特徴のあるせり市を開催し、年間上場頭数2,000頭を超える日本一の市場です。

2017年から24年まで、8年連続で年間100億円を超える売上を記録。これまでG I レースの勝利馬を多数輩出しており、海外からも注目を集めるせり市となっています。



北海道市場(新ひだか町)